

白石市社会教育委員の会議 審議の経緯

1. 諮問事項

「地域の歴史・風土を反映したまちづくりの推進について」

2. 諮問に至る経緯

全国的に少子高齢化・人口減少が進行している中で、本市においても地域のまちづくりの支え手である世代も減少局面を迎え、持続可能なまちづくりを進めるうえで大きな課題となっています。このような社会情勢の変化を踏まえ、「ひとづくり」「地域力の向上」「新しい価値の創造」をまちづくりの基本的視点に位置づけ、「第六次白石市総合計画」を策定したところですが、市民が誇りに思い、魅力あふれるまちづくりを進めていくためには、地域がもつ資源を最大限活用するとともに、埋もれている魅力を発掘し、新たな資源として育てていくことが不可欠となります。

前回の諮問「シビックプライドの醸成について」における答申では、自然の保全や歴史・伝統文化の継承、白石市の新たな魅力の発掘など、市民一人ひとりが改めてまちの魅力に気づき、まちづくりに積極的にかかわろうとする意識を高めていくことが大きな役割を果たすと提言していることから、市民一人ひとりがふるさと「白石」への誇りと愛着を醸成できるよう、歴史遺産とまちの伝統文化を次代に伝える取組や歴史遺産を活用する取組など、地域の歴史・風土を反映したまちづくりの推進が重要となります。

こうした状況を踏まえ、様々な視点から検討いただきたく、社会教育委員の会議に諮問するものです。

3. 審議の経過

	開催日	協議内容
第1回	令和6年4月23日	諮問の提示 諮問事項についての意見交換とイメージの共有
第2回	令和6年7月23日	諮問事項についての共通理解、意見交換
第3回	令和6年10月22日	市内の指定文化財視察、現状把握
第4回	令和7年1月28日	現状把握からの課題抽出 方向性（分類化）について協議

第5回	令和7年4月22日	課題の集約 方向性（分類化）について協議
第6回	令和7年7月22日	方向性（分類化）について協議・まとめ
第7回	令和7年10月28日	答申書素案の協議
第8回	令和8年1月27日	答申書提出